令和5年度京都府環境マネジメントシステム（エコオフィス活動） 運用結果（本庁舎＋4広域振興局）

京都府では、毎年度、エコオフィス活動に係る共通目標を設定し、取組を進めている。令和5年度は、①温室効果ガスの削減、②廃棄物量の削減、③コピー用紙購入枚数の削減（令和3年度比10%削減）を共通目標として定め、取組を行った。

なお、外部環境監査において、府職員の環境意識は高いレベルで維持されていることを確認した。

① 温室効果ガスの削減

庁舎における電気使用量や燃料使用量の削減等により、温室効果ガス削減を目標として掲げている。令和5年度の京都府の事務事業における温室効果ガス排出量は76,167t-CO₂となり、前年度（令和4年度）から16.4%の減少となった。

② 廃棄物量の削減

リサイクルの推進、廃棄物の減量化、物品の長期使用により、廃棄物量の削減を目標として掲げている。

令和5年度の可燃物排出量は、京都府庁全体で前年度（令和4年度）から増加しているものの、コロナ禍（令和2年度～令和4年度）の変則的な増減を除いて長期的な推移をみると、減少傾向にある。

可燃物排出量（m³）

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	前年度比
本庁舎	457.6	391.0	396.2	306.5	316.2	441.9	+39.8%
振興局	289.4	375.3	345.4	345.8	335.4	362.9	+8.2%
山城	64.3	113.1	103.8	144.7	125.9	145.1	+15.3%
南丹	87.3	98.8	102.9	76.5	75.2	63.2	▲16.0%
中丹	71.2	85	76.6	59.9	60.5	81.0	+33.9%
丹後	66.6	78.4	62.1	64.7	73.8	73.6	▲0.3%
府庁全体	747.0	766.3	741.6	652.3	651.6	804.8	+23.5%

③ コピー用紙購入枚数の削減

会議のペーパーレス化の推進や両面印刷の推進等により、用紙類使用量の削減を目標として掲げている。

令和5年度のコピー用紙購入枚数は、京都府庁全体で前年度（令和4年度）比8.7%削減できており、コロナ禍（令和2年度～令和4年度）の変則的な増減を除いて長期的な推移をみても、減少傾向にある。

コピー用紙購入枚数（千枚）

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	前年度比
本庁舎	48,450	49,110	54,380	42,582	50,024	46,019	▲8.0%
振興局	20,517	20,475	19,138	20,203	20,366	18,230	▲10.5%
山城	7,518	7,524	7,775	9,040	8,574	7,329	▲14.5%
南丹	4,430	4,461	3,868	3,832	3,704	3,889	+5.0%
中丹	5,326	4,952	4,494	4,098	4,869	4,016	▲17.5%
丹後	3,243	3,538	3,001	3,233	3,219	2,996	▲6.9%
府庁全体	68,967	69,585	73,518	62,785	70,390	64,249	▲8.7%